

第三期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第3回）
議事要録

- 日時 平成25年11月12日（火）午後7時～9時
- 場所 クリーンセンター3F 見学者ホール
- 出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、高橋健一委員、早川峻委員、村井寿夫委員、塩澤誠一郎委員、藻谷征子委員、島英二委員、押元正樹委員、木村文委員、興梠信子委員、千綿澄子委員、高石優委員、平田昭虎委員、新垣俊彦委員、木村浩委員
事務局（馬場主査他）
事業者（荏原環境プラント 塚本副参事他）
コンサルタント（株式会社日建設 高津敬俊主管他）、傍聴者3名
- 欠席 高橋豊委員、島森和子委員、越智征夫委員、山崎君枝委員、岡田敬一委員、金子和雄委員
- 配布資料 1. 第2回施設・周辺整備協議会の意見に対する回答、2. 煙突デザインに関する意見（緑町三丁目町会）、3. 武蔵野緑町パークタウン 新クリーンセンター（仮称）の煙突についての意見、4. 新クリーンセンター煙突のデザインについて（委員提案）、5. 建築（煙突）デザインコンセプトの整理、6. 周辺樹木を入れた検討図（修正案）、7. 実施設計における留意点、8. 11月に開催した説明会議事録

1. 建築（煙突）デザインについて

（資料説明）

○第2回協議会の意見・回答（事務局から説明）

○煙突デザインに関する意見

- 委員（緑町三丁目町会からの資料について説明）煙突デザインについて三丁目住民の意見を募集し、ワールドカフェの意見も踏まえて整理し資料にまとめた。三丁目として資料に示した3点（エコセンターのデザインと調和、目立たず空や周囲の環境に溶け込むデザイン、下部のデザインに緑を取り入れた工夫）を踏まえたデザインを希望する。意見の一覧もデザイン検討の参考にしてもらいたい。
- 委員 エコセンター以外の敷地内の建物もエコセンターと同調したデザインが必要だと思う。エリアをエコパークのように考えれば、類似した淡い色調で整えていくことも必要だろう。
- 委員（武蔵野緑町パークタウン自治会からの資料について説明）緑町パークタウンで出された意見をまとめた。煙突のデザイン変更はやむを得ないとしてもルーバーにはこだわらなくてよいのではないか、煙突のライトアップはやめてほしい、という内容である。
- 委員（委員提出資料について説明）北町五丁目町会ではあまり深い話はしておらず、もっと距離的に近い方々の意見を尊重したいと考えている。煙突デザインに対する考え方を自分なりに整理するために資料を作成した。デザインを考える前提として3点（煙突をシンボルとしない、住宅地にふさわしいデザイン、新クリーンセンターと統一感のあるデザイン）は共通の認識だろう。個人的な提案として、あまり目立たないシンプルで飽きのこないデザインで、周辺の建物との連続性・統一感が必要、最終的には専門家に任せるべきと考える。次に、デザインの参考になりそうな煙突の事例を挙げた。住宅地の中という意味で給水塔も参考になる。また、アイデアとして3点を示した。最後に、基壇の修景については、樹木で埋めつぶすと粗野で雑な感じになる。造園

の手法を取り入れるなどしてよく考えたほうがいい。(煙突の模型についても説明)

○煙突デザインについて(資料「建築(煙突)デザインコンセプトの整理」、「周辺樹木を入れた検討図(修正案)」に沿って事務局から説明)

○実施設計における留意点について(事務局から説明)

(以下、質疑)

- ・委員 委員からじっくり話したいとの意見があったが、市はスケジュール的にはどのように考えているのか。
- ・参事 12月末に計画通知という許認可書類の提出を予定しており、そこまでにはある程度固まったものを出したいと考えていた。しかし煙突の部分については、詳細設計の完了する3月末くらいまではずらすことができるように現在調整を図っているところである。
- ・会長 皆さんからの意見をできる限りくみ取ろうということで、今年度3回の会議開催に至っている。昨年度までも本当に時間をかけて議論をしてきたので、その積み重ねも考慮した上で意見を頂きたい。
- ・委員 既設の煙突のデザインには、当時の市民参加の思いが込められている。このデザインにたどり着くまでには長い議論と多大な努力があった。そのデザインを変更するにはもっと議論が必要ではないか。分科会を開くなど、もう1回でも議論を続けたいが、どこまで検討すれば意見を取り入れてくれるのか、難しいようにも感じている。
- ・委員 まだ地元での議論をうまく市に伝えきれていないと感じるし、地域の住民に理解してもらうためにももう少し時間がほしい。住民に理解してもらえるように市が地域に出て説明をすることなどができないか。
- ・委員 自然災害時の安全性に懸念がある。また、模型を見ると、直線の箱が並ぶ形だ。屋上には空調機器などが乗るだろうから、もっと曲線を取り入れたデザインにできないだろうか。
- ・会長 模型は時間の制約の中で行政が作ったもので、具体的にはスライドの絵をイメージするとよい。一期から議論してきたように、この地域のコンセプトは低炭素社会を作るということであり、新施設は持続可能な低炭素社会を目指すシンボルになるということを踏まえてほしい。また、現場での細かな色合わせなど、ある程度市に任せなければならない部分もあるだろう。
- ・委員 周囲に溶け込む白っぽい色にして、あまり装飾はつけなくてもよい気もする。デザインの専門家に一番良いと思う案を作成してもらい、住民で確認してから仕上げていけば納得できるだろう。全体的な方向としてはよいのではないか。
- ・委員 委員が仰っているのは、納得感の問題だと思う。自分も地元町会の住民に納得感を持って説明できるか自信がない。たとえば白の色合いにしても多様で、現場で合わせてみないとたぶん納得できないだろう。単純に会議の回数を増やしても納得感が得られるかは難しい気もする。個人的に3つの建築デザイン方針は支持しており、そのデザインと調和した煙突デザインにしてほしいというのが三丁目の意見である。ただルーバーの色などは最終的に現場で選ぶしかなく、そこに住民がどう関わるかが大事ではないか。

新施設は、地域住民のみならず、訪れる人にとっても魅力のある世界に誇れるぐらいの施設でないと意味がない。煙突は工場の象徴だが、工場のマイナスイメージはできるだけ払しょくできるようにしたい。低炭素社会を実現するという将来の目標に向けた意識を共有しながら、皆さんには煙突のデザインを考えてほしいと思う。

- ・委員 現在の煙突について当初関わった人たちの思いは理解できる。ただ現在、自分たちが関わ

り、これからも関わっていくにあたっては、また前向きにスタートしていいのではないか。緑町三丁目としては、ルーバーがあってよいということでもとまっているし、個人的にはエコセンターのルーバーから続いた煙突デザインは好ましいと考えている。訪れた人にとっても魅力的になるのではないか。協議会でこのように意見を出しあった上で、最終的には専門家に任せていくのがよいと思う。

- **会長** これまでに協議会で積み重ねてきた議論を大切にしてほしい。納得できるかどうかは人それぞれによるところが大きい。具体的な色などは現場でないと決められないだろうが、その段階でもぜひ参加して立ち会ってほしい。
- **委員** 皆の意見を全て取り入れるとかえって物は弱くなるという実感がある。たとえば公園などは住民参加で進めるとあまり良いものができなれないと感じることもある。ある程度話し込んだ段階で専門家に託すということでもよいのではないか。
- **会長** 市が説明した「実施設計における留意点」の資料の14ページ目に皆さんの意見の概略が列挙されており、その下の留意点を改めて確認したい。「建築と煙突の一体性と周辺環境とのバランスを図り、ルーバーの高さ、ピッチ、色彩などについて、さらに詳細な検討を行う」とあるが、これは現場で決めることも出てくるということだと思う。足元のデザインについては、「下部のデザインについて、テーパー部分のデザイン性と緑化を合わせてさらに詳細な検討を行う」、ということで、これについても現場である程度決めていくということになると思う。煙突上部の色彩については、輝度を抑える形で詳細検討を行っていく。
煙突デザインの詳細については、事業者とデザイン監修者とで、皆さんからの意見を踏まえながら進めていく。
そして今日頂いた意見もしっかり踏まえたいので、市の方で許認可関係の手続きを進めて頂く。デザインの詳細については、それぞれ専門家に任せるといっていかか。行政が地域に説明に出向くこともできるだろう。
- **委員** 最終的に決定する前の段階で、確認できる機会は設けてほしい。
煙突の白色については、完全な白ではなくて、少し色を工夫した方がよい。その点は専門家に任せたい。
窓ガラスの清掃については、ガラスに光触媒のものをつけるなどできないのか。
- **会長** 一点目については、これまでのプロセスを考えれば、行政側は必ず説明の機会を設けるものと理解している。
- **参事** 説明は必ず行う。最後の清掃の点について、光触媒は優れているが、非常にコストが高くて難しい。大きなガラス面は当初の想定より減っており、清掃については事業者が工夫をして行っていく。
- **委員** 今まで皆さんと話し合い、いろいろな希望を話してきた。行政側は一定の予算の枠の中で皆の希望を実現していくという苦労があったと思う。
- **委員** 煙突の白い色は完全な白については工場のようにになってしまうので、色調については持ち帰って引き続き話し合っていきたい。ルーバーの色については、今後の進捗に合わせて住民にも見せてほしいと思う。
- **副会長** 協議会で大きな方向性を協議し、事業者に提案を求めて、その枠組みの中で決めていくという中で、今年度3回協議会を開いたことで意見のある程度集約し、デザインに反映できてきたと感じている。協議会の当初に示したデザインよりも、事業者が提案してきたデザインは優れ

たものだった。シンプルで簡単そうに見えるがデザイン的に高度に美しくまとめられている。煙突についても、エコセンターと用途が不可分であるし、デザインの方向性を同じにしていくのがよいかと思う。これまでの間、協議会の意見を踏まえ、市と事業者でさまざまなシミュレーションをしながらデザインの調整を進めてきた。協議会が全会一致でルーバーに反対であれば仕方ないとも感じていたが、今のデザインは非常によくできていると感じる。今後も市と事業者に対して自分が力になれることがあれば協力したい。色などは全員で決めるのは難しいが、方法は提案していきたいし、いい形でデザインを決めていければと思う。

- ・**会長** 皆さんの意見、英知が結集してより良い方向に進むようお願いしたい。
- ・**参事** 基本線については今日提案した方向で進めさせてほしい。色合いについては、副会長とも相談しながら進め、報告ができるようにしていきたい。

2. その他

- ・ 11月に開催した説明会の内容について事務局から報告した。
- ・ 次回の協議会は1月の開催、エコプラザと周辺整備の課題の整理を予定。

以上